

W20 分科会パネル・ディスカッション①「女性起業家が創る新しい市場価値」

現状・課題

W20 日本サミットは女性の経済力向上において画期的な出来事となり、日本と G20 加盟国・地域における女性起業の発展に大きく寄与するだろう。本パネルは、いわゆる社会的起業を含む女性の起業が国の GDP にいかに大きな影響を与えうるかを踏まえた行動喚起を目的とするものである。それに加え、本パネルでは女性起業の発展を推進する重要なステークホルダー同士の強力なエコシステム構築の重要性を概観する。ここで述べるステークホルダーは、政府機関、政策関係者、大学、研究者、女性のビジネス団体、金融機関、大企業、起業家の養成を担うインキュベーターやアクセレレーター、国際機関、そして女性起業家自身である。本年の W20 において、日本は女性起業家支援の機運を高めるため、専門のワーキンググループを設置している。さらに、今後、女性起業家のための行動連盟 (Women Entrepreneurial Action Alliances) を構築し、女性の起業に関して個々の国の課題解決を支援する予定であり、その中には日本における女性起業家のエコシステム構築も含まれる。

論点

- 米国における女性起業支援のエコシステム構築の概略の紹介。そこには、行動指向型の研究、エビデンスに基づく政策により女性起業の障害を克服した実例、女性のためのビジネスセンター創設、金融システムや市場に対する女性起業家のアクセスを支援、全米女性ビジネス協議会 (National Women's Business Council) を設立し女性起業家のニーズを政府に伝え、STEAM (科学、技術、工学、アート、数学) 分野における女性の関与を緊急に増やす必要性を訴えたことなどが含まれる。効果的な政策提言と関係諸機関との協力体制が強いエコシステムにとって特に重要な要素である。
- 法人契約市場、国際取引、電子市場と公共調達に女性起業家が参入することの重要性を示す。特に公共調達は 9.5 兆米ドルの巨大な市場だが、女性起業家はわずか 1% しか占めていない。
- 全ての起業段階で女性起業家の金融へのアクセスを支援することの重要性。
- 各国が既に明らかになっていることをやり直す手間を省くため、成功事例やお手本になる事例を共有する。
- 日本の女性起業と社会起業は、日本の将来における経済発展に重要であると強調する。少子高齢化がもたらす労働力不足により日本経済は現在大きな試練を受けている。女性の経済的エンパワーメントは、この状況を打破するための解決策となり、伝統的に男性中心で担ってきた大企業以外の潜在力を生かすことにつながる。その持てる力を最大限に生かすことで、日本の女性起業家と社会起業家は日本社会における主要な経済の担い手になりうる。
- 政策、プログラム、取り組みの中で、女性起業の支援に役立ち、G20 加盟国・地域の経済発展に寄与するものについて議論する。デジタル化で「仕事の未来」が問われる中、各国政府が女性起業家や社会起業家を十分に支援することは、第四次産業革命がもたらす新しい機会を生かすことにつながる。